

アクサ生命 PRESS RELEASE

2016年8月12日

アクサ生命、2016年度第1四半期末の業績を発表

(2016年4月1日～6月30日)

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼 CEO:ニック・レーン)は、日本の会計基準に基づく2016年度(平成28年度)第1四半期末の業績を発表しました。

収入指標

- 保険料等収入は、前年同期比 19.2%増の 1,615 億円。これは主に、ユニット・リンクおよび『アクサの「外貨建て」の変額終身保険 アップサイドプラス』の好調な販売によるもの。

収益指標

- 基礎利益は、前年同期比 48.5%減の 80 億円。これは新契約費の増加や、マーケット要因による利息配当金等収入の減少によるもの。
- 純利益は、△27 億円。これは、基礎利益の減少要因に加え、一部のデリバティブから会計上の一時的な評価損が生じたため。

財務基盤

- ソルベンシー・マージン比率は、2015年度末の 761.2%から 89.1ポイント増加し、850.3%。

アクサ生命の取締役 執行役兼 CFO、住谷 貢は、次のようにコメントしています：

「2016年度第1四半期は、保険料等収入が前年同期比 19.2%増と大きな伸展を遂げるなど、死亡保障や貯蓄性商品の好調な販売などによって収入が増加した。」

「一時的な要因により収益は減少したが、同四半期末のソルベンシー・マージン比率は、2015年度末から 89.1ポイントアップして 850.3%となるなど、お客さまを将来にわたってお守りするための強固な財務基盤を堅持している。」

「今後も、変化するお客さまのニーズにお応えできる先進的な商品やサービスを導入し、デジタル技術を駆使してお客さまの利便性の向上する取り組みを強化していく。また、コスト効率を高める施策に一層注力し、より持続可能な企業となることを目指して、将来の成長に向けた投資を継続し、変革を加速していく。」

重要

- 本資料の業績は日本の会計基準に基づくものであり、AXA グループに連結する際に用いる IFRS(国際財務報告基準)ベースの数値とは異なります。

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、233 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2015 年度には、2,747 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。また、「アクサ損害保険」と「アクサダイレクト生命」を連結する親会社として、子会社各社の経営管理・監督を行っています。

AXA グループについて

AXA は世界 64 ヶ国で 16 万 6,000 人の従業員を擁し、1 億 300 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2015 年度通期の売上は 990 億ユーロ、アンダーライティング・アーニングス(基本利益)は 56 億ユーロ、2015 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 3,630 億ユーロにのびます。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話:03-6737-7140 FAX:03-6737-5964

アクサ生命保険株式会社 2016 年度
第 1 四半期末主要業績

(1) 個人保険・個人年金保険の年換算保険料

1. 新契約の年換算保険料

(単位:百万円、%)

	2015 年度第 1 四半期累計期間	2016 年度第 1 四半期累計期間	前年同期比
個人保険	13,434	14,411	107.3
個人年金保険	1,725	△1	—
合計	15,160	14,409	95.0
うち医療保障・ 生前給付保障等	5,089	4,353	85.5

2. 保有契約の年換算保険料

(単位:百万円、%)

	2015 年度末	2016 年度第 1 四半期会計期間末	前年度末比
個人保険	412,697	419,150	101.6
個人年金保険	112,313	108,892	97.0
合計	525,010	528,043	100.6
うち医療保障・ 生前給付保障等	204,442	205,056	100.3

(2) 保険料等収入

(単位:百万円、%)

	2015 年度第 1 四半期累計期間	2016 年度第 1 四半期累計期間	前年同期比
保険料等収入	135,487	161,547	119.2

(3) 基礎利益

(単位:百万円、%)

	2015 年度第 1 四半期累計期間	2016 年度第 1 四半期累計期間	前年同期比
基礎利益	15,616	8,034	51.5

(4) 純利益

(単位:百万円、%)

	2015 年度第 1 四半期累計期間	2016 年度第 1 四半期累計期間	前年同期比
純利益または純損失(△)	8,576	△2,773	—

2016年度第1四半期末業績のお知らせ

2016年度第1四半期末(2016年4月1日～2016年6月30日)の業績をお知らせします。

<目次>

1. 主要業績	……	1
2. 資産運用の実績(一般勘定)	……	2
3. 四半期貸借対照表	……	5
4. 四半期損益計算書	……	6
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	……	8
6. ソルベンシー・マージン比率	……	9
7. 特別勘定の状況	……	10
8. 保険会社及びその子会社等の状況	……	11

本件に関するお問い合わせ先：
アクサ生命保険株式会社 広報部
TEL: 03-6737-7140 FAX: 03-6737-5964

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位:千件、億円、%)

区分	2015年度末		2016年度第1四半期会計期間末			
	件数	金額	件数		金額	
			前年度末比	前年度末比	前年度末比	前年度末比
個人保険	4,058	144,285	4,096	100.9	146,499	101.5
個人年金保険	269	15,198	263	98.0	14,824	97.5
団体保険	—	29,155	—	—	28,805	98.8
団体年金保険	—	5,403	—	—	5,351	99.0

(注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。(ただし、変額個人年金保険の年金支払開始前契約については、基本保険金額(既払込保険料相当額)を計上しています。)

2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

・新契約高

(単位:千件、億円、%)

区分	2015年度第1四半期累計期間				2016年度第1四半期累計期間					
	件数	金額			件数	金額				
		新契約	転換による純増加	前年同期比		前年同期比	新契約	転換による純増加		
個人保険	124	4,601	4,600	0	114	92.6	4,943	107.4	4,918	24
個人年金保険	0	48	49	△1	—	△100.0	△1	—	0	△1
団体保険	—	5	5	—	—	—	3	56.8	3	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。

2. 新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。(ただし、変額個人年金保険については、初回保険料相当額を計上しています。)

3. 新契約の団体年金保険の金額は第1回収入保険料です。

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位:百万円、%)

区分	2015年度末	2016年度第1四半期会計期間末	
		前年度末比	前年度末比
個人保険	412,697	419,150	101.6
個人年金保険	112,313	108,892	97.0
合計	525,010	528,043	100.6
うち医療保障・生前給付保障等	204,442	205,056	100.3

・新契約

(単位:百万円、%)

区分	2015年度第1四半期累計期間	2016年度第1四半期累計期間	
		前年同期比	前年同期比
個人保険	13,434	14,411	107.3
個人年金保険	1,725	△1	—
合計	15,160	14,409	95.0
うち医療保障・生前給付保障等	5,089	4,353	85.5

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です。(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)

2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む。)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績(一般勘定)

(1) 資産の構成

(単位:百万円、%)

区 分	2015年度末		2016年度第1四半期会計期間末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	112,707	1.9	227,770	3.5
買現先勘定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	55,967	0.9	86,549	1.3
買入金銭債権	—	—	—	—
商品有価証券	—	—	—	—
金銭の信託	2,629	0.0	1,384	0.0
有価証券	5,358,960	88.7	5,479,290	84.8
公社債	3,389,838	56.1	3,588,403	55.5
株式	84,999	1.4	83,042	1.3
外国証券	1,764,708	29.2	1,605,930	24.8
公社債	352,155	5.8	340,120	5.3
株式等	1,412,552	23.4	1,265,810	19.6
その他の証券	119,414	2.0	201,914	3.1
貸付金	161,708	2.7	160,945	2.5
不動産	4,446	0.1	4,380	0.1
繰延税金資産	—	—	—	—
その他	348,224	5.8	505,023	7.8
貸倒引当金	△755	△0.0	△755	△0.0
合 計	6,043,890	100.0	6,464,588	100.0
うち外貨建資産	172,185	2.8	168,179	2.6

(注) 1. 「不動産」については土地・建物を合計した金額を計上しております。

2. 外国証券(株式等)には外国投資信託(債券型)を含んでおり、その金額は2016年度第1四半期会計期間末では1,082,115百万円です。(2015年度末1,211,647百万円)

(2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位:百万円)

区分	2015年度末					2016年度第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差損益			帳簿価額	時価	差損益		
			差益	差損	差益			差損		
満期保有目的の債券	821,420	1,009,614	188,193	189,651	1,457	1,004,889	1,258,784	253,894	255,086	1,192
責任準備金対応債券	573,270	707,764	134,493	134,859	366	585,939	758,940	173,000	173,011	11
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	3,606,070	3,897,153	291,083	345,491	54,408	3,455,981	3,819,206	363,225	405,057	41,832
公社債	1,922,747	2,204,352	281,605	281,726	120	1,876,272	2,211,849	335,576	335,623	46
株式	35,562	48,375	12,812	14,267	1,455	32,618	46,418	13,799	15,603	1,803
外国証券	1,565,514	1,555,502	△10,012	42,772	52,785	1,388,344	1,391,655	3,311	43,167	39,855
公社債	141,612	142,949	1,336	2,707	1,370	124,440	125,845	1,405	3,276	1,870
株式等	1,423,901	1,412,552	△11,348	40,065	51,414	1,263,904	1,265,810	1,905	39,891	37,985
その他の証券	82,245	88,923	6,677	6,725	47	158,745	169,283	10,537	10,663	126
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	5,000,761	5,614,532	613,770	670,002	56,232	5,046,810	5,836,930	790,120	833,156	43,036
公社債	3,108,232	3,676,460	568,227	568,347	120	3,252,826	3,968,286	715,459	715,506	46
株式	35,562	48,375	12,812	14,267	1,455	32,618	46,418	13,799	15,603	1,803
外国証券	1,774,720	1,800,773	26,052	80,662	54,609	1,602,619	1,652,942	50,323	91,382	41,059
公社債	350,818	388,220	37,401	40,596	3,194	338,714	387,132	48,417	51,491	3,074
株式等	1,423,901	1,412,552	△11,348	40,065	51,414	1,263,904	1,265,810	1,905	39,891	37,985
その他の証券	82,245	88,923	6,677	6,725	47	158,745	169,283	10,537	10,663	126
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

2. 「金銭の信託」を本表は含んでおりません。

・ 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位:百万円)

区分	2015年度末	2016年度第1四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	36,066	36,066
その他有価証券	31,048	33,188
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	557	557
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	0	0
非上場外国債券	—	—
その他	30,491	32,630
合計	67,115	69,254

(3) 金銭の信託の時価情報

(単位:百万円)

区 分	2015年度末					2016年度第1四半期会計期間末				
	貸借 対照表 計上額	時価	差損益			貸借 対照表 計上額	時価	差損益		
			差益	差損				差益	差損	
金銭の信託	2,629	2,629	—	—	—	1,384	1,384	—	—	—

・ 運用目的の金銭の信託

該当ありません。

・ 満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

(単位:百万円)

区 分	2015年度末					2016年度第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差損益			帳簿価額	時価	差損益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の 金銭の信託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
責任準備金対応 の金銭の信託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の金銭の 信託	2,666	2,629	△36	11	48	1,450	1,384	△66	6	73

3. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	2015年度末 要約貸借対照表 (2016年3月31日現在)	2016年度 第1四半期 会計期間末 (2016年6月30日現在)	科目	期別	2015年度末 要約貸借対照表 (2016年3月31日現在)	2016年度 第1四半期 会計期間末 (2016年6月30日現在)
		金額	金額			金額	金額
(資産の部)				(負債の部)			
現金及び預貯金		128,581	242,871	保険契約準備金		5,060,918	5,052,387
債券貸借取引支払保証金		55,967	86,549	支払備金		45,875	44,023
金銭の信託		2,629	1,384	責任準備金		5,001,460	4,995,245
有価証券		6,190,467	6,274,957	契約者配当準備金		13,581	13,118
（うち国債）	(3,334,978)	(3,518,323)	代理店借		1,866	1,674
（うち地方債）	(2,085)	(2,096)	再保険借		75,729	79,807
（うち社債）	(52,773)	(67,983)	その他負債		1,166,131	1,467,452
（うち株式）	(84,999)	(83,042)	債権貸借取引受入担保金		886,399	1,104,045
（うち外国証券）	(1,854,236)	(1,690,459)	未払法人税等		1,362	86
貸付金		161,708	160,945	リース債務		376	336
保険約款貸付		84,591	83,855	資産除去債務		1,710	1,717
一般貸付		77,117	77,089	その他の負債		276,281	361,266
有形固定資産		4,976	4,865	退職給付引当金		44,042	44,647
無形固定資産		99,517	96,230	役員退職慰労引当金		875	855
のれん		89,612	86,046	価格変動準備金		36,287	36,892
その他		9,904	10,183	繰延税金負債		63,569	96,534
代理店貸		10	0	負債の部合計		6,449,419	6,780,252
再保険貸		91,359	95,797	(純資産の部)			
その他資産		174,903	329,979	資本金		85,000	85,000
貸倒引当金		△755	△755	資本剰余金		59,876	30,940
投資損失引当金		△14,653	△15,072	資本準備金		23,010	28,797
				その他資本剰余金		36,865	2,142
				利益剰余金		12,650	9,877
				その他利益剰余金		12,650	9,877
				繰越利益剰余金		12,650	9,877
				自己株式		△5,072	△5,072
				株主資本合計		152,453	120,744
				その他有価証券評価差額金		209,553	261,474
				繰延ヘッジ損益		83,287	115,283
				評価・換算差額等合計		292,841	376,758
				純資産の部合計		445,294	497,502
資産の部合計		6,894,714	7,277,755	負債及び純資産の部合計		6,894,714	7,277,755

4. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	2015年度 第1四半期累計期間 (2015年4月1日から 2015年6月30日まで)	2016年度 第1四半期累計期間 (2016年4月1日から 2016年6月30日まで)
		金額	金額
経常収益		185,027	211,932
保険料等収入		135,487	161,547
(うち保険料)	(130,925)	(156,405)
資産運用収益		48,617	41,719
(うち利息及び配当金等収入)	(34,158)	(25,719)
(うち金銭の信託運用益)	(105)	(—)
(うち有価証券売却益)	(3,195)	(15,996)
(うち特別勘定資産運用益)	(8,772)	(—)
その他経常収益		922	8,665
経常費用		168,771	211,357
保険金等支払金		128,102	116,803
(うち保険金)	(15,849)	(16,021)
(うち年金)	(22,149)	(26,320)
(うち給付金)	(26,293)	(26,196)
(うち解約返戻金)	(53,638)	(38,554)
(うちその他返戻金)	(1,311)	(1,605)
責任準備金等繰入額		4,686	6
責任準備金繰入額		4,679	—
契約者配当金積立利息繰入額		6	6
資産運用費用		4,421	60,174
(うち支払利息)	(189)	(62)
(うち金銭の信託運用損)	(—)	(69)
(うち有価証券売却損)	(398)	(4,193)
(うち有価証券評価損)	(7)	(228)
(うち金融派生商品費用)	(3,093)	(12,170)
(うち特別勘定資産運用損)	(—)	(27,419)
事業費		28,641	30,750
その他経常費用		2,920	3,622
経常利益		16,255	574
特別損失		674	1,055
固定資産等処分損		3	31
価格変動準備金繰入額		671	605
その他特別損失		—	419
契約者配当準備金繰入額		2,113	2,024
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)		13,466	△2,505
法人税及び住民税		4,242	△62
法人税等調整額		647	330
法人税等合計		4,890	267
四半期純利益又は四半期純損失(△)		8,576	△2,773

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2016年度第1四半期会計期間末					
1. 会計方針の変更					
(1)「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(2016年3月28日 企業会計基準適用指針第26号。以下「回収可能性適用指針」という。)を、当第1四半期会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性について一部を見直しを行いました。 この結果、当第1四半期会計期間において繰延税金資産及び法人税等調整額(貸方)がそれぞれ465百万円増加しております。					
(2)法人税法の改正に伴い、「2016年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(2016年6月17日 実務対応報告第32号)を当第1四半期会計期間に適用し、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。 この変更による損益への影響は軽微であります。					
2. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は、921,399百万円であります。					
3. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。					
①当期首現在高				13,581百万円	
②当第1四半期累計期間契約者配当金支払額				2,494百万円	
③利息による増加等				6百万円	
④契約者配当準備金繰入額				2,024百万円	
⑤当第1四半期会計期間末現在高				13,118百万円	
4. 配当金支払額					
2016年6月14日開催の取締役会において、以下のとおり決議しております。					
・ 普通株式の配当に関する事項					
①配当金の総額				28,935百万円	
②1株当たり配当額				3,710円	
③基準日				2016年3月31日	
④効力発生日				2016年6月14日	
5. 株主資本の金額の著しい変動					
(単位:百万円)					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	85,000	59,876	12,650	△5,072	152,453
当第1四半期会計期間末までの変動額					
剰余金の配当 (うち当第1四半期累計期間配当)	—	△28,935 (△28,935)	—	—	△28,935 (△28,935)
四半期純損失	—	—	△2,773	—	△2,773
当第1四半期会計期間末までの変動額合計	—	△28,935	△2,773	—	△31,709
当第1四半期会計期間末残高	85,000	30,940	9,877	△5,072	120,744

(四半期損益計算書関係)

2016年度第1四半期累計期間
1株当たり四半期純損失は△355円60銭であります。

5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位:百万円)

	2015年度 第1四半期累計期間	2016年度 第1四半期累計期間
基礎利益 A	15,616	8,034
キャピタル収益	4,091	17,579
有価証券売却益	2,980	15,996
為替差益	1,111	—
その他キャピタル収益	—	1,582
キャピタル費用	3,558	25,378
金銭の信託運用損	59	70
有価証券売却損	398	4,193
有価証券評価損	7	228
金融派生商品費用	3,093	12,170
為替差損	—	8,716
キャピタル損益 B	533	△7,799
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	16,149	235
臨時収益	106	339
危険準備金戻入額	106	339
臨時費用	—	—
臨時損益 C	106	339
経常利益 A+B+C	16,255	574

(注) 1.2015年度第1四半期累計期間においては、次の金額を「キャピタル損益」に含めず、「基礎利益」に含めて記載しています。

- ①金銭の信託運用益のうちインカム・ゲインに相当する額 164 百万円
 ②有価証券売却損益及び為替差損益のうち外貨建保険商品に係る為替関係損益に相当する額 999 百万円

2.2016年度第1四半期累計期間においては、次の金額を「キャピタル損益」に含めず、「基礎利益」に含めて記載しています。

- ①金銭の信託運用益のうちインカム・ゲインに相当する額 0 百万円
 ②有価証券売却損益及び為替差損益のうち外貨建保険商品に係る為替関係損益に相当する額 △4,848 百万円

3.2016年度第1四半期累計期間においては、次の金額を「基礎利益」に含めず、「キャピタル損益」に含めて記載しています。

- 責任準備金戻入額のうち、キャピタル・ゲインに相当する額 1,582 百万円

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項 目	2015年度末	2016年度 第1四半期会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	665,054	729,491
資本金等	123,453	120,744
価格変動準備金	36,287	36,892
危険準備金	42,148	41,808
一般貸倒引当金	587	587
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	261,941	326,842
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	275	275
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	196,610	199,620
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	△78
控除項目	—	—
その他	3,750	2,797
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	174,721	171,579
保険リスク相当額 R_1	11,995	12,011
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	7,478	7,477
予定利率リスク相当額 R_2	36,352	36,106
最低保証リスク相当額 R_7	4,666	4,726
資産運用リスク相当額 R_3	128,803	125,887
経営管理リスク相当額 R_4	3,785	3,724
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	761.2%	850.3%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条、第190条及び1996年大蔵省告示第50条の規定に基づいて算出しています。

2. 最低保証リスク相当額の算出に際しては、標準的方式を用いています。

7. 特別勘定の状況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位: 百万円)

区 分	2015年度末		2016年度第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険		246,134		240,721
個人変額年金保険		613,054		580,967
団体年金保険		—		—
特別勘定計		859,189		821,688

(注) 個人変額年金保険の特別勘定資産残高には、株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険の追加年金部分の特別勘定資産が含まれています。

(2) 保有契約高

・ 個人変額保険

(単位: 千件、百万円)

区 分	2015年度末		2016年度第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険(有期型)	196	2,450,237	214	2,596,468
変額保険(終身型)	119	770,235	125	776,426
合 計	316	3,220,473	339	3,372,894

(注) 個人変額保険の保有契約高には、一般勘定で運用されるものを含んでいます。

・ 個人変額年金保険

(単位: 千件、百万円)

区 分	2015年度末		2016年度第1四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	89	607,522	87	583,359
合 計	89	607,522	87	583,359

8. 保険会社及びその子会社等の状況

(1) 主要な業務の状況を示す指標

(単位:百万円)

項目	2015年度第1四半期連結累計期間	2016年度第1四半期連結累計期間
経常収益	194,460	223,034
経常利益	14,047	340
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は四半期純損失(△)	6,308	△2,916
四半期包括利益	△13,501	81,815

項目	2015年度末	2016年度第1四半期連結会計期間末
総資産	6,970,311	7,360,576
ソルベンシー・マージン比率	581.1%	672.9%

(2) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数	2社
持分法適用非連結子会社数	1社
持分法適用関連会社数	-

(3)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	2015年度末 要約連結 貸借対照表 (2016年3月31日現在)	2016年度 第1四半期連結 会計期間末 (2016年6月30日現在)	科目	期別	2015年度末 要約連結 貸借対照表 (2016年3月31日現在)	2016年度 第1四半期連結 会計期間末 (2016年6月30日現在)
		金額	金額			金額	金額
(資産の部)				(負債の部)			
現金及び預貯金		143,930	257,429	保険契約準備金		5,103,768	5,097,955
債券貸借取引支払保証金		66,377	101,639	支払備金		63,440	62,030
金銭の信託		2,629	1,384	責任準備金		5,026,745	5,022,806
有価証券		6,200,138	6,287,745	契約者配当準備金		13,581	13,118
貸付金		161,708	160,945	代理店借		1,967	1,770
有形固定資産		5,658	5,517	再保険借		75,787	79,871
無形固定資産		116,038	112,502	債券貸借取引受入担保金		896,985	1,119,400
のれん		102,976	99,069	その他負債		284,656	367,487
その他		13,062	13,432	退職給付に係る負債		52,223	52,408
代理店貸		25	12	役員退職慰労引当金		960	943
再保険貸		92,355	97,328	価格変動準備金		36,380	36,991
その他資産		182,243	336,878	繰延税金負債		59,098	92,383
貸倒引当金		△796	△807	負債の部合計		6,511,828	6,849,213
				(純資産の部)			
				資本金		85,000	85,000
				資本剰余金		80,575	51,639
				利益剰余金		8,426	5,510
				自己株式		△5,072	△5,072
				株主資本合計		168,928	137,076
				その他有価証券評価差額金		210,678	263,056
				繰延ヘッジ損益		83,287	115,283
				退職給付に係る調整累計額		△4,412	△4,054
				その他の包括利益累計額合計		289,553	374,286
				純資産の部合計		458,482	511,362
資産の部合計		6,970,311	7,360,576	負債及び純資産の部合計		6,970,311	7,360,576

(4)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	2015年度第1四半期 連結累計期間 (2015年4月1日から 2015年6月30日まで)	2016年度第1四半期 連結累計期間 (2016年4月1日から 2016年6月30日まで)
		金額	金額
経常収益		194,460	223,034
保険料等収入		147,002	175,408
資産運用収益		46,757	41,697
(うち利息及び配当金等収入)	(32,303)	(25,696)
(うち金銭の信託運用益)	(105)	(—)
(うち有価証券売却益)	(3,195)	(15,996)
(うち特別勘定資産運用益)	(8,772)	(—)
その他経常収益		700	5,928
経常費用		180,413	222,694
保険金等支払金		133,323	123,169
(うち保険金)	(20,945)	(22,226)
(うち年金)	(22,151)	(26,323)
(うち給付金)	(26,365)	(26,287)
(うち解約返戻金)	(53,651)	(38,570)
責任準備金等繰入額		6,663	6
責任準備金繰入額		6,657	—
契約者配当金積立利息繰入額		6	6
資産運用費用		4,421	60,170
(うち支払利息)	(189)	(62)
(うち金銭の信託運用損)	(—)	(69)
(うち有価証券売却損)	(398)	(4,203)
(うち有価証券評価損)	(7)	(228)
(うち金融派生商品費用)	(3,093)	(12,170)
(うち特別勘定資産運用損)	(—)	(27,419)
事業費		32,349	34,858
その他経常費用		3,655	4,490
経常利益		14,047	340
特別損失		683	642
固定資産等処分損		6	31
価格変動準備金繰入額		676	611
契約者配当準備金繰入額		2,113	2,024
税金等調整前四半期純利益又は四半期純損失(△)		11,249	△2,327
法人税及び住民税等		4,286	234
法人税等調整額		654	354
法人税等合計		4,941	588
四半期純利益又は四半期純損失(△)		6,308	△2,916
親会社株主に帰属する四半期純利益又は四半期純損失(△)		6,308	△2,916

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	2015年度第1四半期 連結累計期間 (2015年4月1日から 2015年6月30日まで)	2016年度第1四半期 連結累計期間 (2016年4月1日から 2016年6月30日まで)
		金額	金額
四半期純利益又は四半期純損失(△)		6,308	△2,916
その他の包括利益		△19,810	84,732
その他有価証券評価差額金		△11,430	52,377
繰延ヘッジ損益		△8,306	31,996
退職給付に係る調整額		△73	358
四半期包括利益		△13,501	81,815
親会社株主に係る四半期包括利益		△13,501	81,815

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係及び連結株主資本等変動計算書関係)

2016年度第1四半期連結会計期間末					
1. 会計上の変更					
(1)「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 2016年3月28日)を、当第1四半期会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性について一部を見直しを行いました。 この結果、当第1四半期連結会計期間において繰延税金資産及び法人税等調整額(借方)がそれぞれ465百万円増加しております。					
(2)法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。 この変更による損益への影響は軽微であります。					
2. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期連結貸借対照表価額は、921,399百万円であります。					
3. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。					
①当連結会計期間期首現在高		13,581百万円			
②当第1四半期連結累計期間契約者配当金支払額		2,494百万円			
③利息による増加等		6百万円			
④契約者配当準備金繰入額		2,024百万円			
⑤当第1四半期連結会計期間末現在高		13,118百万円			
4. 配当金支払額					
2016年6月14日開催の取締役会において、以下のとおり決議しております。					
・ 普通株式の配当に関する事項					
①配当金の総額		28,935百万円			
②1株当たり配当額		3,710円			
③基準日		2016年3月31日			
④効力発生日		2016年6月14日			
5. 株主資本の金額の著しい変動					
(単位:百万円)					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当連結会計期間期首残高	85,000	80,575	8,426	△5,072	168,928
当第1四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当 (うち当第1四半期連結累計期間配当)	—	△28,935 (△28,935)	—	—	△28,935 (△28,935)
四半期純損失	—	—	△2,916	—	△2,916
当第1四半期連結会計期間末までの変動額合計	—	△28,935	△2,916	—	△31,852
当第1四半期連結会計期間末残高	85,000	51,639	5,510	△5,072	137,076

(四半期連結損益計算書関係)

2016年度第1四半期連結累計期間	
1. 1株当たり四半期純損失は、△373円93銭であります。	
2. 当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(賃貸用不動産等減価償却費を含む)は1,101百万円、のれんの償却額は3,906百万円であります。	

(セグメント情報)

2016年度第1四半期連結累計期間

当社及び連結子会社は、生命保険事業以外に損害保険事業を営んでいますが、当該事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(5)連結ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項 目	2015年度末	2016年度 第1四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	495,423	564,729
資本金等	34,912	36,221
価格変動準備金	36,380	36,991
危険準備金	42,478	42,151
異常危険準備金	2,892	3,302
一般貸倒引当金	587	587
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	263,302	328,756
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	259	259
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△6,120	△5,623
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	197,829	200,887
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△81,165	△82,124
控除項目	—	—
その他	4,066	3,319
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2+R_5^2+R_6+R_9})^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4+R_8$ (B)	170,503	167,839
保険リスク相当額 R_1	12,184	12,209
一般保険リスク相当額 R_5	4,990	5,243
巨大災害リスク相当額 R_6	304	304
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	7,542	7,544
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	—	—
予定利率リスク相当額 R_2	36,353	36,106
最低保証リスク相当額 R_7	4,666	4,726
資産運用リスク相当額 R_3	124,082	121,616
経営管理リスク相当額 R_4	3,802	3,755
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	581.1%	672.9%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び2011年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。

2. 最低保障リスク相当額の算出に際しては、標準的方式を用いています。